学校番号	T0110

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　家庭基礎　生活を科学する　（教育図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
友達の考えを知り、多様な考えを学び、自分の考えを持ちましょう。
実践的・体験的な学習を通して基本的な技術を身につけます。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち､その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし､その解決を目指して思考を深め、適切に判断し､工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉､衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 調理計画､製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="6">人の一生と青年期</td><td>●人の一生

なぜ今が大切なのか

人の一生はどうなっているのだろう</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="6">a:
・青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
・家族の意義や役割、男女の平等と協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
b:
・自分を見つめ、課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。
・家族・社会との関わりから自分を見つめ、課題を考えようとしている。
c:
・青年期の課題に関して自分の考えや意見を発表し、レポートにまとめることができる。
・家族・家庭の課題に対して、協力しあいながら子育てを行うことについて、意見を発表し、レポートにまとめることができる。
d:
・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について理解している。
・青年期に課題を理解し、家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解している。</td><td rowspan="6">授業観察

プリント

定期考査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>●青年期の課題

青年期の課題にはどのようなものがあるか

未来へ向けた決断をしよう</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>●家族・家庭と法律

家族ってなんだろう

家庭生活と社会働き

家族・家庭は法律でどう決められているか</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

7 8 9	子育てを学ぶ	●親の役割 ●子どもの成長のようすと生活 ●子どもの発育・発達の特徴	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: 子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 親の役割と保育について理解を深め、子どもにとってよい環境を判断できる。 c: 人形をつかい赤ちゃんの抱き方などを体験し、保育の DVD を見て、意見をまとめることができる。 d: 親の役割、子どもにとって健全に成長できる環境などを理解している。	授業観察 プリント 定期考査
	高齢期の生活	●高齢期の特徴 ●高齢社会の現状	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 高齢者の生活、心身の変化などに関心を持ち、自分の将来の姿としてとらえ、意欲的に学習に取り組んでいる。 b: 共生社会を成立させるために課題を見いだし、その解決を目指し社会の一員として何ができるか考えることができる。 c: 将来の高齢者福祉のあり方についてどのように解決したらよいかなど、自分の考えを言うことができる。 d: 高齢者の自立生活を支えるために家族や社会が果たす役割について理解している。	授業観察 プリント 定期考査

10 11	衣生活	●衣服の機能を考える ●被服実習 エプロン製作	○	○	 ○	○ ○	a: 自分の衣生活について関心を持ち、衣服の成り立ちと性質の学習をとおして、管理のための知識や技術を身につけようとしている。 b: 衣服の機能を理解し、適切な着用を実生活に取り入れ、工夫している。 c: 実際に一枚の布から、実用できるものをつくることができる。 d: 社会習慣への適応と衣服材料の性能や衣服の構成との関わりの深さについて認識する。	授業観察 プリント 定期考査
12	食生活	●食生活の現状と課題 ●栄養と食品 ●食中毒と食品の安全性 ●献立と調理	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生の技術を身につけている。 d: 栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 プリント 定期考査

1	住生活	●暮らしと住まい ●いろいろな暮らし方	○ ○	○ ○	○	○	a: 住まいの役割や住空間に関心を持ち、自分の住居に関する知識を増やそうという意欲をもっている。 b: 暮らしと住居の関わりについて、自らの自立と関連づけて考えている。 c: 自立を考えて、住空間の演出や賃貸物件の探し方などさまざまな場面で、学習した内容を生かすことができる。 d: 住居に関する基礎的基本的な知識と技術を理解している。	授業観察 プリント 定期考査
2 3	経済的に自立する	●自立した消費者になるために ●家計の仕組みと管理	○ ○	○	○	○ ○	a: 自らの消費生活を見つめ、自分の生活との関連を持たせ、意欲的に学ぼうとしている。 b: 家庭経済と国民経済の関わりについて関心を深め、主体的に家計管理や家庭の経済について考える。 c: 日々の消費行動によって環境に負荷を与えないように配慮できる。 d: 消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解している。	授業観察 プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。